

【第2弾】川という自然の理解講座

(主催：NPO法人川に学ぶ体験活動協議会（RAC）・仁淀川清流保全推進協議会・物部川清流保全推進協議会）

令和7年11月5日に、【第2弾】川という自然の理解講座を開催しました。（第1弾（7/23、7/24開催）については8月7日の投稿で紹介しています。）水生生物の採集に先立ち、講師から採り方の説明があり、その後、実際に川に入り採集を行いました。水温は14.5度と寒い中での実習となりましたが、参加者の皆さんが積極的に取り組み、どのような水生生物が採れたか、どこに生息していたかなどについて、活発に意見交換をしながら採集を行っている様子が印象的でした。

採集後は、全員で水生生物の特徴を確認しながら分類作業を行い、ヒラタカゲロウやヘビトンボなど、約11種類の水生生物が確認できました。座学では、講師から採集した水生生物の身体の特徴と生息場所の関係について説明があり、水生生物が川の環境に与える影響や、河川ごとの環境の違いについても学びました。

また、河川環境に配慮した活動のあり方や環境整備についても説明があり、身近な事例を用いた解説により、さらに理解が深まりました。

